

私の

独立開業日誌

税理士

北村 聰



中卒からの挑戦

私の最終学歴は「中卒」です。何か手に職を付けて独立したいと思い、税理士を目指そうと考えたのは25歳の頃でした。それまではトラックの運転手やホテルのウェーティー、ガードマン、飛び込み訪問によるアンケート調査など色々なアルバイトをしてきました。そんな経験の私は税理士の受験資格が無く、まずは受験資格の一つである日商簿記1級から勉強を始めることにしました。

書店で参考書を買い独学で勉強を始め、「売掛金」は「うりかかりきん」・「仕掛け品」は「しかけひん」と読むものだと思い込んだ状態で、1回目の試験に臨みました。そんな状態でしたので結果は当然不合格、周囲が一生懸命問題を解いている最中に、私一人だけ途中退室するという散々な結果でした。私は限界を感じ、間もなく専門学校のカセット通信講座を申し込むことにしました。そして2回目の受験で合格することができました。

専門学校の教材で簿記の基礎を改めて学んだことや、過去の試験問題を分析して出題傾向を予測して臨んだことも、合格できた大きな要因だったと思います。前回は合格率1%台という超難解な試験だったので、今回の試験委員は、恐らくオーソドックスな出題で来るだろう、という読みが結果的に良かったようです。

税理士受験時代

これでようやく税理士受験のスタートラインに立った私は、そこでもやはりカセット通信講座（当時DVD通信講座はありませんでした。）で、アルバイトをしながら勉強を進めていきました。カセット通信講座を選んだ主な理由は次のとおりです。

- ① 集中できる時間と場所をその都度選べる。
- ② 繰り返しテープを聞くことができる。
- ③ 勉強するときは1人の方が集中できた。

しかし、税理士試験は長丁場になりますので、受験仲間やライバルが周囲にいないことの不安や、モチベーションを維持する難しさ、また勉強を後回しにするとあっという間に置いていかれ、溜まった教材の山を前に勉強意欲を失ってしまう、という難しさもあり、通信生は通学生に比べ途中で諦めてしまう方が多いそうです。

それでも継続できたのは、今思えばやはり受けたりたいという気持ちが強かったのだと思います。実際にそう感じる出来事がありましたので、ご紹介したいと思います。

当時4科目目である所得税の受験勉強をしていた11月の夜、お腹が空き夜食のラーメンの具としてキャベツの芯を切っている最中に、手が滑り右手人差し指の腹をザックリと切ってしまったのです。専門病院での診察で言わわれたことは「今の手の状況では恐らく神経まで切れています。あと2、3年は動かすことができないでしょう。」でした。受験生の方はご存知だと思いますが、税法は計算問題の他、理論問題があり、2時間の中で答案用紙に書きまくるという試験でしたので、人差し指が動かない状態では合格は厳しい状況です。しかし、医師の言葉を聞いて当時私が思ったことは「ならば左手で書けば良い。」でした。そして診断を受けたその日の夜から、左手で字を書く練習を始めました。今回の受験は諦めるという選択肢は全く考えませんでした。

指を切ってから数週間後、神経をつなぐ手術を受けました。そのとき執刀医の先生から思いがけない言葉を言われました。「神経に傷は入ってい

るけど、かろうじてつながっています。」その言葉どおり数ヶ月後には完全ではありませんでしたが、右手で字が書けるようになっていました。結果その年の所得税に無事合格できましたが、今思えば左手では合格は難しかったと思います。

また、税理士受験は長丁場になりますので、煮詰まったときには、うまくリフレッシュすることも大切だと思います。特に自分の場合は、休日を上手に過ごさなければ、その後の勉強にも悪影響を及ぼしました。ですので、遊ぶときはしっかり遊ぶという考え方で、真剣に遊びました。

私のリフレッシュ法は家族でドライブをすることで、冬はスノーボードをしに雪山へ出掛け、税理士受験の直前期である夏には、花火を見に出掛けました。初めて科目合格をした年の直前に花火を見に行っていたこともあります。駆け抜けた意味でその後も毎年花火観戦は欠かしませんでした。当時経済的にも精神的にも家族に迷惑を掛けっていましたが、合格することが一番の恩返しになるはずと考え、今年駄目なら諦めると期限を決めて臨んだのも、合格できた要因だったと思います。

会計事務所勤務時代

29歳でデスクワークの経験ゼロでの就職活動も簡単ではありませんでしたが、最終的には無事会計事務所に就職することができました。

受験時代から将来は独立したいという願望があったので、社員のときから心がけていたことは、独立できるスキルを身に付けるということでした。

しかし職員の立場である私は、独立できるスキルの定義が良く分からず、都内の総合事務所や社会保険労務士事務所など複数の職場で経験を積むこととなりました。今思えば色々な事務所で面接をしたときのお話や、異業種を含め複数の職場でそれぞれに個性がある仕事を体験できたことは、非常に貴重な経験になったと思います。

独立開業後

税理士事務所を開業したのは平成21年です。まだ一年も経っていませんが、開業してからのモッ

トは「挑戦できることは挑戦しよう！人生に無駄、失敗は無い！」という考え方で、色々な事に挑戦してきました。知識の幅を広げる意味で今年の1月には新たにファイナンシャルプランナーを取得し、税理士会の活動では中学3年生を対象に「税について考える租税教室」で毎回約150名の生徒さんを前に講師を務めさせて頂きました。未曾有の大不況と言われる中での開業、しかもお客様はゼロという状況からのスタートで果たして食って行けるのか？という周囲の声もありましたが、試行錯誤ながらも新規のご契約を頂いている状況です。

受験生へメッセージ

受験生の中には、将来の不安や経済的に厳しいなど、それぞれの問題を抱えながら挑戦している方も多いかと思います。私の場合もそうでしたが越えなければならない壁はとても高く感じていました。日々手応えを感じることのできないほどの本当に少しづつの積み重ねが、気づいた時には超えられる壁になっているものなのかもしれません。そして、その経験が将来のどんな仕事にでも生きてくるものだと思います。ぜひ合格目指して頑張ってください。

<私の事務所> 北村税理士事務所

■開設年月日 平成21年6月

■住所 埼玉県草加市瀬崎町1306-31

■TEL 048-922-5026

■FAX 048-969-4432

■立地条件 東武伊勢崎線 谷塚駅から徒歩5分

■使用設備 TKC・弥生会計他

■経営理念 顧客に喜ばれるサービスよりも、顧客をより良くするサービスを

■HP <http://www.sk-tax.com/>

■ブログ <http://ameblo.jp/kitamura-tax/>

<私の略歴>

1972年 埼玉県新座市生まれ

1990年 東京都立工業高等専門学校 退学

2002年 税理士・社会保険労務士事務所・総合事務所 勤務

2009年 税理士事務所 開業